

ファン団体からの要望に応える、応援広告に特化した媒体



①昨年5月5日に掲出された韓国の俳優イ・ジュンギ氏の応援広告。
②③端のパネル (B0×2 連) は付箋広告として運用し、1 週間で 700 枚以上の付箋が貼られた。また、掲出時には有志のファンが協力し、駅構内のマナーアップに努めた。付箋は応援サークルが回収し集計後、メッセージブックとして同氏に送付したという。

応援広告に特化したプランを提供 新たな媒体イメージ・価値を構築

横浜・みなとみらいエリアの主要駅や商業施設、周遊バスなどの各種広告を手掛ける㈱ NKB Y's は昨年5月1日、みなとみらい駅 B3F の P3 枠ポスターボードを、応援広告に特化した「推し ROAD」として商品化し公式リリースした。

「推し ROAD」は、昨今需要が増加しつつある応援広告に特化した企画で、応援対象者へのメッセージを付箋で貼る「付箋広告」に対応したパネルセット (ドライマウント加工) と、より安価なポスターセットの2プランを用意。応援広告の申込みはファンクラブや団体に限定しており、応援対象の所属事務所から、広告掲出と意匠使用許可を取得することなどが利用条件となっている。

なお、パネルはフルセット (B0×12 連:H1050×W18500mm) とハーフセット (B0×6 連:H1050×W9200mm)、ポスター

も同様にフルセット (B0×12 枚) とハーフセット (B0×6 枚) を選択できる。

同社は2021年より、みなとみらい線の広告において、応援広告の受入を開始。同年7月には、みなとみらい駅構内の大型ボードを、付箋広告にも利用できる「推し BOARD」として運用するなど、応援広告の企画・制作業務に注力してきた。

昨年、新たに「推し ROAD」を企画した理由について、同社担当者は「横浜・みなとみらいは、Kアリーナやびあアリーナ MM、パシフィコ横浜といったイベント施設が多数あり、応援広告の対象となるアーティストが活躍する機会が多いエリア。これまで別箇所に設定していた推し BOARD を通じて、様々な応援広告を手掛けてきたが、駅構内のトイレ改修に伴い撤去することになったため、これまでの推し BOARD にかわり、よりファンのニーズを追求した新媒体として、約 18m の大型媒体「推し ROAD」を企画した」と話す。

広告を掲出する P3 枠ポスターボードは、

改札横イベント広場「みらいチューブ」の壁面に設置。アーチ状の広々とした空間で、回遊動線からやや外れた位置のため、イベント時以外は通行者も少なく、企業広告向けではない場所だった。その一方で、ファンの撮影スペースを確保する必要がある応援広告としては最適の媒体だったため、今回のリブランディングの対象となった。

応援広告の企画第1弾となったのは、韓国の俳優イ・ジュンギ氏。同氏は例年、パシフィコ横浜でファンミーティングを開催しており、昨年5月5日に同所で開催された『2023 LEE JOON GI SPLENDOR Family Day: 僕たちの花火』に合わせて、応援サークルが出稿し、一部を付箋広告として掲出した。広告は SNS を中心に話題を呼び、一部の投稿では 10 万以上のインプレッション数を獲得しているという。

現在も同社は応援広告のニーズに応える媒体の整備を進めており、みなとみらい線主要駅の大型ボードをはじめ、周辺エリアへの掲出拡大に向け注力していく方針だ。